

学 習 活 動	観 点	観 察 記 録	観 点 No. 評 価
<ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつは元気に、Q and A では、誤りをおそれず、はっきりと答える。 ○ 基本本文を、教師の示す絵を見ながら発表する。 ○ 教師の説明を聞いて、本時の授業の流れを理解する。 	① 基本本文の理解・運用度の確認	[前時に学習した基本本文を、自分の言葉で表現できたか。] ・ 生徒の発表の様子（特にB子、C男の発表の様子に注意する。）	1 <input type="checkbox"/>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 英文を日本語に訳すことをしないで、要点をとらえる気持でテープを聞く。 ○ 言えるようになった大切な英文を発表してみる。 	① 要点の発表	(本時の内容の概要や要点として大切な英文を言うことができたか。) ・ 生徒の発表の様子（特に、A男、D子の発表の様子に注意する。）	2 <input type="checkbox"/>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書を閉じて、答えのメモをノートにとりながら、教師の質問に答える。 ○ 補説の英文と英問の後、自分の答えのチェックをする。 ○ 教師の質問に一回で正しく答えられた場合は○、補説をとおしての正解には○、誤答は×の記号を記入し、自分に合ったコースを選択し、コース別のアンサーボール(Aコース赤、Bコース青、Cコース黄)を立てる。 	② 形成的評価による理解度の確認 ② コースの選択	[生徒の理解度を確認するのに適切な英問英答であり、補説問題であったか。] 即ち、教師の英問に答えられたか、答えられない生徒は補説問題のあとではどうであったか。 ・ アンサーボール [自分に合ったコースを選ぶことができたか。] ・ 「自己評価票」の記録をみて、適当なコースを選んでいるかどうか確かめる。	3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/>
<ul style="list-style-type: none"> ○ コース別学習課題、A～Cのコースのプリントの問題の中から、自分に合ったコースの問題を行う。 ○ Bコースまでは到達するように努力する。 	② 分枝型学習形態	[自分に合った課題に取り組むことができたか。] ・ 抽出生徒はそれぞれ自分に合ったコース別学習に取り組んでいるか。	5 <input type="checkbox"/>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各文が教科書の本文と合っているかどうかを確認する。 ○ 与えられた英文の内容がわからない時は、教科書で調べる。 ○ 意味がわからない時は、教師の指導を受ける。 ○ OHPにより、正答を確認する。 	② T or F テストによる内容把握 ② 個別的な指導援助	・ プリント (内容の要点が把握できたか。) (個に応じた働きかけができたか。) ・ 教師の指導援助の様子	6 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/>
<ul style="list-style-type: none"> ○ Q and A を行う。 ・ つずりにはこだわらず、英問に答えるつもりで記録する。 ・ It ... to ~を含む質問文に答えられない時は、教師の指導を受ける。 ・ OHPにより、正答を確認する。 ○ 絵を用いた自由表現をする。 ・ まちがいをおそれないで表現する。 ・ 自分が考えた文を発表する。 	③ Q and A による内容把握	(Q and A がよくできたか。) ・ プリント	8 <input type="checkbox"/>
<ul style="list-style-type: none"> ○ Q and A を行う。 ・ OHPにより、正答を確認する。 ○ 身近な事柄を自由に表現してみる。 ・ It ... to ~を含む文を発表する。 	④ 目標をふまえた表現活動	(目標を踏まえた文を、自由に表現することができたか。) ・ 生徒の発表の様子	9 <input type="checkbox"/>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自己評価票」に、本時の反省を記入する。 ○ 次時の学習計画を確認する。 	③ 学習の反省	[自己の反省点を素直に書くことができたか。] ・ 「自己評価票」	10 <input type="checkbox"/>